

|     |                |       |       |
|-----|----------------|-------|-------|
| 科目名 | 国語<br>Japanese | 科目コード | 40040 |
|-----|----------------|-------|-------|

|          |                              |
|----------|------------------------------|
| 学科名・学年   | 物質工学科・4年（プログラム1年）            |
| 担当教員     | 堀口 真利子（一般教育科）                |
| 区分・単位数   | 履修単位科目・必履修・1単位               |
| 開講時期・時間数 | 前期，30時間【内訳：講義30】             |
| 教科書      | 『現代を読む 評論文20選 ステップアップ』（明治書院） |
| 補助教材     | 担当者によるプリント                   |
| 参考書      | 国語辞典など。その他、担当者が随時教示する。       |

### 【A. 科目の概要と関連性】

3学年までの学習活動を土台に、読解力と表現力の両面から、より高度な学習活動を展開する。語彙力や論理的な思考力・表現力などは、文章を実際に読解することによって錬成される面が大きい。そこで、4学年では、高度な内容の現代文の読解を中心として、あわせて文章作成にも取り組み、国語力の拡充を目指す。

○関連する科目：国語（1～4学年履修）、文学I（後期選択履修）・日本語文化（専攻科1年後期選択履修）

### 【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

| 科目の到達目標               | 評価の重み | 学習・教育到達目標との関連 |
|-----------------------|-------|---------------|
| ①高度な内容の論理的文章を理解する。    | 40%   | (a1)(a2)      |
| ②豊かな語彙力を身につけ、言語感覚を磨く。 | 20%   | (b2)          |
| ③論理的で明快な文章を書けるようにする。  | 40%   | (b1)(b2)      |

### 【C. 履修上の注意】

3学年までの学習内容を復習しておくことが望ましい。また、日常の予習復習を欠かさないこと。授業に際しては、教科書を持参すること。課題は必ず期日までに提出すること。国語辞典を携帯して、適宜利用すること。さらに、日常生活における読書習慣を確立させておきたい。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（60%）【内訳：中間0，期末60】
- その他（40%）

## 【E. 授業計画・内容】

### ● 前期

| 回  | 内容          | 備考       |
|----|-------------|----------|
| 1  | 現代評論読解（1）   |          |
| 2  | 現代評論読解（2）   |          |
| 3  | 現代評論読解（3）   |          |
| 4  | 現代評論読解（4）   |          |
| 5  | 現代評論読解（5）   |          |
| 6  | 文章表現力の錬成（1） |          |
| 7  | 文章表現力の錬成（2） |          |
| 8  | 文章表現力の錬成（3） |          |
| 9  | 現代評論読解（6）   |          |
| 10 | 現代評論読解（7）   |          |
| 11 | 現代評論読解（8）   |          |
| 12 | 現代評論読解（9）   |          |
| 13 | 現代評論読解（10）  |          |
| 14 | 現代評論読解（11）  |          |
| —  | 期末試験        | 試験時間：50分 |
| 15 | 試験解説と発展授業   |          |